

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	25	基地周辺環境対策推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(9)-7-③			
				米軍活動に起因する環境汚染への対応			
担当部課名	環境部 環境保全課	事業実施 (予定)年度	H29~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(1)		
事業内容	①返還跡地の支障除去措置を適切に実施するため、返還予定米軍基地周辺15地点以上の地下水調査および過年度実施データとの比較対象表を作成するとともに、米軍基地特有の化学物質についての情報収集及び過年度に得られたリストをもとに対象物質を抽出し、有害性情報・研究結果等の情報収集、整理を行う。 ②返還時等に適切な住民参画を実施するため、自治体職員向け研修会及び県民向け講演会(セミナー)を開催する。 ③普天間飛行場周辺の有機フッ素化合物の汚染状況の調査及び有機フッ素化合物汚染源特定に係る有識者会議を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状況	(a) 当初予算額	47,625		65,068		64,379
		(b) 予算現額	47,625		65,068		64,379
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
	A. 計(b+d)		47,625	0	65,068	0	64,379
	B. 執行済額		46,781		64,970		64,194
	うち交付金充当額		37,424		51,976		51,355
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.2%		99.8%		99.7%
予算の状況の説明		・令和4年度から3つの細事業からなる「基地周辺環境対策推進事業」を開始している。 ・令和6年度の執行率は99.7%であり、概ね計画的に執行出来た。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①-1 基地周辺15地点の地下水調査、米軍基地特有の汚染化学物質調査・検証	目標	-	15地点	15地点	15地点	
		実績	-	15地点	15地点	15地点	
	①-2 米軍基地特有の化学物質についての有害性情報等の整理	目標	-	情報整理	情報整理	情報収集	
		実績	-	情報整理した	情報整理した	情報収集した	
	② 専門的人材育成研修会2回、講演会1回	目標	研修会2回 講習会1回	研修会2回 講習会1回	研修会2回 講習会1回	研修会2回 講演会1回	
		実績	研修会2回 勉強会1回	研修会2回 勉強会1回	研修会2回 講演会1回	研修会2回 講演会1回	
	③ 有機フッ素化合物の残留実態調査(水、土壌)1件、有識者会議の実施3回	目標	-	調査1件、会議3回	調査1件、会議3回	調査1件、会議3回	
		実績	-	調査1件、会議3回	調査1件、会議3回	調査1件、会議3回	
進捗状況説明	①在沖米軍基地周辺15地点で地下水調査及び米軍基地特有の化学物質の情報収集・整理等を行った。 ②基地環境問題等に関する研修会2回(11月)、勉強会1回(1月)を開催した。 ③普天間飛行場周辺でボーリング調査及び水質モニタリングを実施し、専門家会議を3回開催した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	①-1 返還予定基地周辺の地下水調査による汚染状況の把握件数1件以上	目標	-	1件以上	1件以上	1件以上	-
		実績	-	1件	1件	1件	-
	①-2 返還予定基地における米軍基地特有の化学物質リストの作成1件以上	目標	-	1件以上	1件以上	1件以上	-
		実績	-	7件	9件	5件	-
	② 研修参加者数10名以上	目標	-	10名以上	10名以上	10名以上	-
		実績	-	38名	14名	16名	-
	③ 調査結果等の汚染源周辺における市町村等の広報活動などへの活用 5件	目標	-	5件	5件	5件	-
		実績	-	5件	5件	5件	-
	達成状況説明	すべての項目において、成果目標を達成した。各項目ごとの実績は以下のとおり。 ①返還予定基地周辺で地下水調査を実施し汚染状況を把握できた。また、米軍基地特有の化学物質について情報収集等を行い整理した。 ②基地環境問題等に関する研修会に行政職員16名が参加し、目標を達成した。 ③普天間飛行場周辺におけるボーリング調査や水質モニタリングの結果等について報告書を取りまとめ県HPで公表するとともに、地元自治会等が広報活動等に活用した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>①米軍基地では国内一般地域ではみられない用途に化学物質が利用されていることや、一般地域では通常使用されない化学物質が使われていることが想定されているが、これらの米軍基地特有の化学物質に関する状況把握や情報が不足している。 跡地利用推進法が令和4年に改正され、令和13年度までの期限付きで施行されている。基地で使用が想定され、且つ法で環境基準の定めがない化学物質の情報蓄積・対応の必要性について検証が重要となる。</p> <p>②自治体職員研修について、毎年度受講者数の目標を達成しているが、自治体職員は数年で異動することもあり、専門性を高めることが難しい。</p> <p>③普天間飛行場周辺の有機フッ素化合物汚染は同飛行場が汚染源である蓋然性が高まったが、汚染実態や汚染メカニズムの詳細な把握が必要である。また、基地内の立入調査ができていない。</p>	<p>①基地周辺湧水等の汚染状況を把握するとともに、基地特有の化学物質に関する情報の収集・整理をする必要がある。</p> <p>②自治体職員研修については、オンラインを活用する等、どこでも誰でも受講できる環境を整え、基礎的な内容については広く周知を図り、環境や基地関連部署の職員には専門性の高い講習内容とすることなどを検討していきたい。</p> <p>③汚染実態やメカニズムを把握するため、湧水・地下水のモニタリング調査を継続するとともに、これまでの調査で得られたデータの解析を行う必要がある。</p>

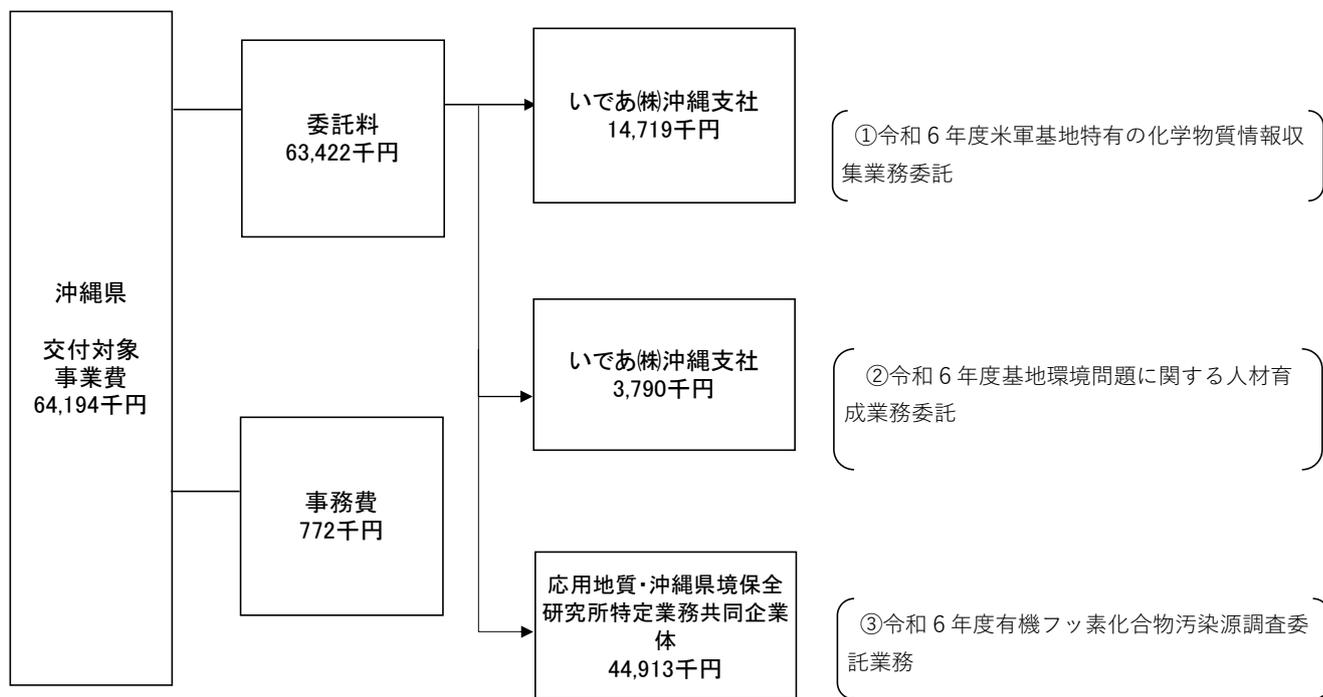
今後の取り組み方針

- ① 返還予定米軍基地周辺等において地下水調査を15地点以上実施し、米軍基地特有の化学物質の情報収集・整理を行う。
- ② 引き続き集合研修を開催するが、オンラインの活用についても検討していく。
- ③ 湧水・地下水のモニタリング調査を継続し、これまでの調査で得られたデータの精査や解析、シミュレーションを行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
64,194	64,194	51,355	12,839	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。</p> <p>○費目・使途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	26	米軍航空機騒音影響評価事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	2-(9)-7-②			
担当部課名	環境部 環境保全課	事業実施（予定）年度	R4～R8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	米軍飛行場周辺地域における航空機騒音の夜間騒音暴露分布図を作成する。 リスク評価の実施に向けて必要な情報等を整理する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度（R8年度）						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	49,562		27,567		14,738
		(b) 予算現額	49,562		27,567		14,738
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	49,562	0	27,567	0	14,738
	B. 執行済額		47,912		27,567		14,648
	うち交付金充当額		38,329		22,053		11,718
	C. 次年度繰越額			0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)		96.7%		100.0%		99.4%
予算の状況の説明		・令和6年度予算は、事業実施に係る委託料及び旅費の経費を計上した。 ・執行率は99.4%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標（指標） 及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
	騒音等データの収集	目標				4測定局 （普天間飛行場）	
		実績				4測定局 （普天間飛行場）	
	夜間騒音暴露分布図作成	目標				1地域 （嘉手納飛行場）	
		実績				1地域 （嘉手納飛行場）	
	リスク評価に係る調査手法の検討	目標				1件	
		実績				1件	
進捗状況説明	夜間航空機騒音暴露状況を把握するため、普天間飛行場周辺において騒音等データの収集を行い、嘉手納飛行場周辺における夜間騒音暴露分布図を作成した。 また、リスク評価の実施に向け、リスク評価に係る調査手法の検討を行った。						
成果目標（指標） 及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値 （〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 （R8年度）
	夜間航空機騒音暴露状況の把握	目標	—			1地域 （嘉手納飛行場）	—
		実績	—			1地域 （嘉手納飛行場）	—
	【R8成果目標】 リスク評価の実施		目標				2地域
達成状況説明	令和8年度の成果目標であるリスク評価の実施に向けて、成果目標である夜間航空機騒音暴露状況の把握（1地域、嘉手納飛行場周辺）を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和6年度においては、整備した測定器を用いた嘉手納飛行場周辺の夜間航空機騒音暴露状況の把握を行ったところであるが、当該暴露状況等を踏まえた適切なリスク評価を行う必要がある。	嘉手納飛行場周辺におけるリスク評価の実施に当たっては、事前の調査や専門家への聞き取りなどによる調査検討結果を踏まえる必要がある。
今後の取り組み方針		
事前の調査や専門家への聞き取りなどによる調査検討結果を踏まえ、リスク評価を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
14,648	14,648	11,718	2,930	0	0	0


```

graph LR
    A[沖縄県  
交付対象事業費  
14,648千円] --> B[委託料  
14,170千円]
    A --> C[事務費  
478千円]
    B --> D[日本音響エンジニアリング株式会社  
14,170千円]
    C --- E[旅費]
    subgraph F [ ]
    B
    D
    end
    F --- G[令和6年度航空機騒音影響評価事業委託業務]
  
```

資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は航空機騒音の夜間騒音暴露分布図の作成及びリスク評価手法の検討を行うものであるが、夜間騒音暴露分布図作成用データは上記委託先が保守管理する航空機騒音測定システムから取得すること、当該データフォーマットの取り扱い是一般に非公表のため取り扱う者が限定されていること、夜間騒音暴露分布図の作成とリスク評価の手法は一体的に検討する必要があることから、選定方法を特命随意契約としたことは妥当である。 ○業務の完了検査を行い、適正に事業が実施されていることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	